

2021 年度入試 (2020 年度実施)
工学部学科改組に伴う第 3 年次編入学入試制度の変更について

1. 募集人員 (※表 1)

募集人員を以下のとおり変更します。

【変更前】

学部	学 科 名	編入学定員	募 集 コ ー ス 名	募集人員
工 学 部	生 命 工 学 科	11人	—	11人(推薦4、学力7)
	応 用 分 子 化 学 科	5人	—	5人(推薦2、学力3)
	有 機 材 料 化 学 科	5人	—	5人(推薦2、学力3)
	化学システム工学科	5人	—	5人(推薦2、学力3)
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	16人	航空宇宙エネルギーコース	16人(推薦8、学力8)
			車両制御ロボットコース	
	電 気 電 子 工 学 科	20人	システムエレクトロニクスコース	20人(推薦9、学力11)
電子情報通信工学コース				
情 報 工 学 科	8人		8人(推薦3、学力5)	
計		※ 70人	計	70人

※ 編入学定員 70 人の中に、推薦入試、学力検査入試、社会人特別入試を含む



【変更後】

学部	学 科 名	編入学定員	募 集 コ ー ス 名	募集人員
工 学 部	生 命 工 学 科	11人	—	11人 (推薦4、学力7)
	生体医用システム工学科	6人	—	6人 (推薦2、学力4)
	応 用 化 学 科	10人	—	10人 (推薦4、学力6)
	化 学 物 理 工 学 科	7人	化学工学コース	7人
			物理工学コース	(推薦3、学力4)
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	16人	航空宇宙・機械科学コース	16人 (推薦8、学力8)
			ロボティクス・知能機械デザインコース	
知能情報システム工学科	20人	数理情報工学コース	20人 (推薦10、学力10)	
		電子情報工学コース		
計		※70人	計	70人

※ 編入学定員 70 人の中に、推薦入試、学力検査入試、社会人特別入試を含む

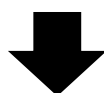
2. 推薦入試

第一次選考において推薦書および調査書により書類選考、第二次選考において面接試験を実施します。

(1) 出願対象学科

【変更前】

募集学科	募集コース	出願できる出身学科
生 命 工 学 科	—————	工業化学科、物質工学科、 生物工学科およびこれらの関連学科
応 用 分 子 化 学 科	—————	工業化学科、化学工学科、 物質工学科およびこれらの関連学科
有 機 材 料 化 学 科	—————	工業化学科、化学工学科、 物質工学科およびこれらの関連学科
化学システム工学科	—————	工業化学科、化学工学科、 物質工学科およびこれらの関連学科
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航空宇宙エネルギーコース	機械工学科および関連学科
	車両制御ロボットコース	
電 気 電 子 工 学 科	システムエレクトロニクスコース	電気工学科、電子工学科、 情報工学科およびこれらの関連学科
	電子情報通信工学コース	
情 報 工 学 科	—————	情報工学科、電気工学科、 電子工学科およびこれらの関連学科



【変更後】

募集学科	募集コース	出願できる出身学科
生 命 工 学 科	—————	工業化学科、物質工学科、 生物工学科およびこれらの関連学科
生体医用システム工学科	—————	電気工学科、電子工学科、およびこれら の関連学科
応 用 化 学 科	—————	応用化学科、工業化学科、物質工学科、 化学工学科およびこれらの関連学科
化学物理工学科	化学工学コース	工業化学科、化学工学科、 物質工学科、機械工学科、 電気工学科、電子工学科 およびこれらの関連学科
	物理工学コース	
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	航空宇宙・機械科学コース	機械工学科および関連学科
	ロボティクス・知能機械デザインコース	
知能情報システム工学科	数理情報工学コース	情報工学科、電気工学科、 電子工学科およびこれらの関連学科
	電子情報工学コース	

(2) 面接試験の参考資料としての「口述または筆記による簡単な基礎学力テスト」の内容

【変更前】

募集学科	コース	内容
生命工学科	—	基礎的な英語読解力についての試験および現在高等専門学校で行っている卒業研究の内容についての質問等を面接時に行う。
応用分子化学科	—	書類選考の結果により、面接の参考として口述または筆記試験を行う場合がある。その内容としては物理化学、有機化学、無機・分析化学、英語について高等専門学校卒業程度。
有機材料化学科	—	
化学システム工学科	—	
機械システム工学科	全コース	小論文を課すとともに、数学・物理・英語・機械工学の基礎的内容に関する口述試験を行う。出願範囲は高等専門学校卒業までに修得する程度。
電気電子工学科	全コース	電磁気学、電気電子回路、計算機基礎などの電気電子工学の基礎的内容について口述試験を行う。内容は高等専門学校卒業程度。
情報工学科	—	書類選考の結果により、問題解決の筋道を問う口述試験を行う場合がある。



【変更後】

学科	コース	内容
生命工学科		基礎的な英語読解力についての試験および現在高等専門学校で行っている卒業研究の内容についての質問等を面接時に行う。
生体医用システム工学科	_____	書類選考の結果により、面接の参考として口述または筆記試験を行う場合がある。その内容は物理、電気電子工学について高等専門学校卒業程度とする。
応用化学科	_____	書類選考の結果により、面接の参考として口述または筆記試験を行う場合がある。その内容としては物理化学、有機化学、無機・分析化学、英語について高等専門学校卒業程度。
化学物理工学科	全コース	面接の参考として小論文または口述試験を行う場合がある。その内容としては数学、化学、物理、英語について高等専門学校卒業程度。
機械システム工学科	全コース	数学・物理・英語・機械工学の基礎的内容に関する口述試験を行う。出題範囲は高等専門学校卒業までに修得する程度。
知能情報システム工学科	全コース	希望コースに応じた基礎的内容(数理情報工学コースでは計算機やアルゴリズム、電子情報工学コースでは電気電子回路、電磁気学、計算機基礎など)について口述試験を行う。出題範囲は高等専門学校卒業までに修得する程度。

2. 学力検査入試

選抜方法

学力検査、面接試験、成績証明書等を総合して判定します。

(1) 第2・第3志望できる学科

【変更前】

第1志望学科	第2志望できる学科	第3志望できる学科
生命工学科	なし	なし
応用分子化学科	有機材料化学科・化学システム工学科	有機材料化学科・化学システム工学科
有機材料化学科	応用分子化学科・化学システム工学科	応用分子化学科・化学システム工学科
化学システム工学科	応用分子化学科・有機材料化学科	応用分子化学科・有機材料化学科
機械システム工学科	なし	なし
電気電子工学科	情報工学科	なし
情報工学科	なし	なし

機械システム工学科，電気電子工学科にあつては，同学科の第2志望コースを認めます。



【変更後】

第1志望学科	第2志望できる学科	第3志望できる学科
生命工学科	生体医用システム工学科※2 化学物理工学科	生体医用システム工学科※2 化学物理工学科
生体医用システム工学科	なし	なし
応用化学科	なし	なし
化学物理工学科	生体医用システム工学科※2	なし
機械システム工学科	生体医用システム工学科	なし
知能情報システム工学科	生体医用システム工学科※3	なし

化学物理工学科、機械システム工学科，知能情報システム工学科にあつては，同学科の第2志望コースを認めます。第2・第3志望のない場合，志願票の該当欄には×を記入してください。

※1 出願に際しては，後述 20 頁の「志願票等記入の注意事項および記入例」を参照してください。

※2 第1志望学科で、学力検査科目の理科として物理を選択した者に限ります。また、第一志望学科で実施する専門科目（口述）は、第二志望学科判定時の評価に入れません。

※3 知能情報システム工学科の専門科目（筆記）は、第二志望学科判定時の評価に入れません。

(2) 出願対象学科

【変更前】

学 科 名	募 集 コ ー ス	出願できる出身学科
生 命 工 学 科	—	特に指定しない。
応 用 分 子 化 学 科	—	特に指定しない。
有 機 材 料 化 学 科	—	特に指定しない。
化学システム工学科	—	特に指定しない。
機械システム工学科	航 空 宇 宙 エ ネ ル ギ ー コ ー ス	機械工学科および関連学科
	車 両 制 御 ロ ボ ッ ト コ ー ス	
電 気 電 子 工 学 科	シ ス テ ム エ レ ク ト ロ ニ ク ス コ ー ス	電気工学科，電子工学科，情報工学科およびこれらの関連学科
	電 子 情 報 通 信 工 学 コ ー ス	
情 報 工 学 科	—	特に指定しない。



【変更後】

学 科 名	募 集 コ ー ス	出願できる出身学科
生 命 工 学 科	—	特に指定しない。
生体医用システム工学科	—	電気工学科、電子工学科、 機械工学科、およびこれらの 関連学科
応 用 化 学 科	—	特に指定しない。
化学物理工学科	化 学 工 学 コ ー ス	特に指定しない。
	物 理 工 学 コ ー ス	
機械システム工学科	航 空 宇 宙 ・ 機 械 科 学 コ ー ス	機械工学科および関連学科
	ロ ボ テ ィ ク ス ・ 知 能 機 械 デ ザ イン コ ー ス	
知能情報システム工学科	数 理 情 報 工 学 コ ー ス	特に指定しない。
	電 子 情 報 工 学 コ ー ス	

(3) 学力検査科目

【変更前】

学 科	共通科目			専門科目 (筆記試験)	専門科目 (口述試験)
	自然科学		外国語		
	数学	理科	英語		
生 命 工 学 科	○	物理・化学・生物から2科目選択	○		○
応 用 分 子 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
有 機 材 料 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
化学システム工学科	○	物理・化学必修	○		○
機械システム工学科	○	物理・化学必修	○	○	
電 気 電 子 工 学 科	○	物理必修	○	○	
情 報 工 学 科	○	物理必修	○	○	



【変更後】

学 科	共通科目			専門科目 (筆記試験)	専門科目 (口述試験)
	自然科学		外国語		
	数学	理科	英語		
生 命 工 学 科	○	物理・化学から1科目選択	○		○
生体医用システム工学科	○	物理必修	○		
応 用 化 学 科	○	物理・化学必修	○		○
化学物理工学科	○	物理・化学から1科目選択	○		○
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	○	物理必修	○		
知能情報システム工学科	○	物理必修	○	○	

(4) 学力検査（共通科目）の出題範囲

【変更前】

ア	数	学	微分積分学, 線形代数学, 常微分方程式
イ	物	理	力学, 熱力学, 波動, 電磁気学
ウ	化	学	無機・分析化学, 物理化学, 有機化学
エ	生	物	生化学
オ	英	語	大学教養程度



【変更後】

ア	数	学	微分積分学, 線形代数学, 常微分方程式
イ	物	理	力学, 熱力学, 波動, 電磁気学
ウ	化	学	無機・分析化学, 物理化学, 有機化学
エ	英	語	大学教養程度

(5) 学力検査（専門科目）の出題範囲

【変更前】

生命工学科：無機化学，物理化学，有機化学，生物化学

応用分子化学科：無機・分析化学，物理化学，有機化学

有機材料化学科：無機・分析化学，物理化学，有機化学

化学システム工学科：無機・分析化学，物理化学，有機化学

機械システム工学科：機械力学，流体力学，熱力学，材料力学

電気電子工学科：電磁気学，電気電子回路，計算機基礎

情報工学科：コンピュータの機能，ソフトウェア・ハードウェア，
数理・情報工学



【変更後】

生命工学科：無機化学，物理化学，有機化学，生物化学

生体医用システム工学科：なし

応用化学科：無機・分析化学，物理化学，有機化学

化学物理工学科：無機・分析化学，物理化学，有機化学，力学，熱力学，波動，
電磁気学

機械システム工学科：なし

知能情報システム工学科：計算機基礎，論理回路または電気電子回路，数理・情報工学
または電磁気学

(6) 配点 (学力検査科目)

【変更前】

学科	英語	数学 注①	理科 注②	専門科目 (筆記または口述)	計
生命工学科	200	100	200	200 (口述)	700
応用分子化学科	200	200	200	200 (口述)	800
有機材料化学科	200	200	200	200 (口述)	800
化学システム工学科	200	200	200	200 (口述)	800
機械システム工学科	200	200	300	200 (筆記)	900
電気電子工学科	200	200	100	200 (筆記)	700
情報工学科	200	200	100	200 (筆記)	700

注 ① 生命工学科は数学を 100 点満点で配点し、他学科は 200 点満点で配点します

② 電気電子工学科、情報工学科の理科は 1 科目、他学科は 2 科目。

機械システム工学科の理科の配点は物理 200 点，化学 100 点。



【変更後】

学科	英語	数学 注①	理科 注②	専門科目 (筆記または口述)	計
生命工学科	200	100	200	200 (口述)	700
生体医用システム工学科	200	200	200		600
応用化学科	200	200	200	200 (口述)	800
化学物理工学科	200	200	200	200 (口述)	800
機械システム工学科	200	200	200		600
知能情報システム工学科	200	200	100	200 (筆記)	700

注① 生命工学科は数学を 100 点満点で配点し、他学科は 200 点満点で配点します。

② 応用化学科は理科 2 科目、他学科は 1 科目。

生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科、機械システム工学科は理科 1 科目を 200 点満点で配点し、応用化学科、知能情報システム工学科は理科 1 科目につき 100 点満点で配点します。